

# 酒造り唄に学ぶ 蔵人たちの想い

音楽科学習指導案  
第5学年

## —日本の音楽に親しもう（鑑賞）—

場所：音楽室  
指導者：富樫 真紀  
（東広島市立西条小学校）

### 1 題材のデザイン

#### 題材について

本題材は、学習指導要領（平成29年告示）のB鑑賞（1）ア、イをもとに設定したものである。児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、旋律、呼びかけとこたえとする。

「酒造り唄」は、酒造りの工程ごとに歌われる作業唄で、仕事の動きや工程に携わる集団の特徴を表している。昭和30年頃までは全国各地の酒蔵で歌われていたが、今では仕事で歌われることはほとんどなく、神事や民謡として歌われることが多い。本題材で扱う「もとり唄」は拍節的で、リーダーが歌って他の人たちが合の手を歌う音頭一同形式という特徴をもつ。に対し、「桶洗い唄」は、非拍節的である。どちらも仕事をしながら歌う素唄の音源であり、仕事と音楽の特徴が一致する。そのため、音楽の背景にある仕事や蔵人の気持ちなどを疑似体験しながら歌うことで、音楽の特徴を聴き取ったり、「酒造り唄」のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたりすることができる。と考える。

#### 児童について

本学級の児童は、「詩と音楽の関わりを味わおう」の鑑賞の学習において、75%の児童が、音楽的な根拠を基に、演奏のよさについて記述できていたが、25%は、音楽の特徴は述べていても曲全体を見通してよさを述べてはいなかった。曲想と音楽の構造との関わりについて理解している児童は少ない。また、西条に伝わる音楽を知っているかのアンケート調査では、31%が、「知らない」と答えた。「知っている」と答えた児童のうち、62%は3学年の総合的な学習の時間で学んだ盆踊り歌を挙げたが、酒造り唄を挙げたのは、わずか20%だった。第4学年の郷土の音楽の学習や第6学年のオペラ「白壁の街」で耳にしているにもかかわらず、自分の郷土の音楽であることの認識が低いことが分かる。これらのことから、地域の音楽を題材にすることで、郷土の文化について関心をもたせたり、鑑賞についての知識を生かしながら曲全体を味わってよさを見いだす力を高めたりすることが必要であると考える。

#### 指導の手立て

本題材は、総合的な学習の時間と関連させ、学習を進めていく。本校の6年生が演じるオペラ「白壁の街」は、音楽で物語が進められるが、2曲だけ伴奏がないアカペラの「唄」がある。なぜ、「唄」なのか、なぜ伴奏がないのかという疑問から、酒造りと酒造り唄の関係について学習を進めていく。酒蔵見学や杜氏による酒造りの話と結びつけながら、酒造り唄の特徴と酒造り唄の背景を関連させ、日本に伝わる音楽の特徴についての理解を深め、曲のよさを味わわせていく。

第1時では、オペラ「白壁の街」で歌われている「もとり唄」と、洗い場で歌われていた「桶洗い唄」を歌うことから始める。「桶洗い唄」で歌われている歌詞や仕事の様子から、当時の仕事の大変さに想いをよせるとともに、2曲を歌い比べることで、曲想と音楽の構造との関わりについて理解しにくい児童も、旋律の音の動き、拍など酒造り唄をはじめとする日本の音楽の曲想と音楽の構造との関わりを理解しやすいと考える。

第2時では、作業の動きを疑似体験しながら歌う活動を取り入れる。「もとり唄」では、実際に歌いながらももつりの作業をしている映像に合わせて、自分たちも權を動かすことで、拍節的な唄と蔵人たちの動きの一体感を実感させる。そして、あえて歌わずに作業をするという活動を取り入れ、両者を比較することで、歌うことのよさについて感じたことを話し合い、考えを深めていく。さらに、「桶洗い唄」では、水を扱うつらい作業であったことや、動きをそろえる必要のない作業であったこと、自由な拍で歌われていることを関連付けることで、この唄が歌われることの意味を考えさせていく。

第3時では、仕事唄として歌われていた唄が、機械化に伴って歌われなくなった現在、酒造り唄は必要なのか酒造り唄の未来について考えていく。地元の酒造り唄保存会の演奏、民謡歌手の華やかな伴奏の演奏、さらには現代風アレンジされた演奏を聴き比べ、それぞれのよさを見いだすことで、自分たちのふるさとの音楽への愛着や、生活とともにある音楽への関心を高めていきたい。

#### 本題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・「もとり唄」と「桶洗い唄」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。	・旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	・酒造り唄や音楽の背景に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、自分たちの郷土の音楽への愛着を涵養する。

## 2 題材構想図（題材計画と評価）

### 学習の流れ（全3時間）

### 深い学びを実現する指導の工夫

時間外 (総合的な学習の時間)	<p>「酒造りの工程を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酒造りの工程を、オペラ「白壁の街」の音楽や演技の様子と合わせて知る。</li> </ul> <p>「昔の酒造りの様子を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酒蔵で働いていた方のインタビュー映像から、昔の酒造りの様子や、工程ごとに歌われていた唄を知る。</li> </ul>
第一次 (2時間)	<p>「酒造り唄を歌って、音楽の特徴を見付けよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「もとり唄」「桶洗い唄」を歌い、日本の民謡に特有の拍や旋律、呼びかけとこたえの特徴に気付く。 【知】</li> </ul> <p>「唄を歌う意味について考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴から、唄を歌いながら仕事をする事のよさについて考える。 【思】</li> </ul> <p>(対話場面① 本時2/3)</p>
第二次 (1時間)	<p>「唄を歌い継ぐ意義を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事で歌われていた素唄と、様々なアレンジの酒造り唄を聴き比べ、それぞれのよさを感じ取り、ふるさと民謡を歌い継ぐ意義について考える。 【学】</li> </ul> <p>(対話場面② 3/3)</p>
時間外 (総合的な学習の時間)	<p>「酒造り唄をつなごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと西条の酒造り唄である「もとり唄」を広く伝えるために、「DANCE MOTOSURI」として4年生(来年の5年生)に提案する方法を考える。</li> </ul>

#### 総合的な学習の時間との関連

- 総合的な学習の時間で酒蔵見学や杜氏の話聞いたことと、オペラ「白壁の街」の歌詞の内容を関連させながら学習することで、昔の伝統的な酒造りの様子を学び、酒造り唄と酒造りの関係を知ることができるようにする。

#### ゲストティーチャーの話の活用

- 実際に唄を歌いながら仕事をされていた方のインタビュー映像を視聴することで、昔の酒造りの苦勞を知り、なぜ、仕事をするときに唄を歌う必要があったのかについて考えられるようにする。

#### 歌いながら比較聴取する

- 一人で作業する「桶洗い唄」と、共同作業しながら歌う「もとり唄」とを比較しながら歌うことで、こぶしの節回しや、非拍節的なリズムなどの違いについて気付かせる。

#### 疑似体験しながら歌う

- 仕事の動きに合わせて歌うことで、唄と動きの一体感、他の半切り桶の動きとも同じように作業ができること、さらには仕事が楽しくなることや、気持ちが一体になることを実感できるようにする。

#### 対話場面①(本時 2/3)

- ★歌いながら作業をしたときの動きと、歌わなかったときの作業の動きの違いや気持ちの違いを比較することで、歌うことのよさについて考えるとともに、音楽の特徴に気付かせる。

#### 酒造り唄の様々な演奏を比較聴取する

- 仕事唄の様々な演奏を聴くことで、日本の音楽のよさや面白さを味わい、自分たちの郷土の音楽への愛着をもてるようにする。

#### 対話場面②(3/3)

- ★仕事唄として歌う必要がなくなった酒造り唄を歌い継ぐ意味があるのか、様々な演奏を聴き比べることで、音楽のよさや面白さ、美しさや歌うことの意味について考え、ふるさと西条のうたを歌い継ぐことの意義について考える。

#### 「もとり唄」を新しい伝統として伝える

- 唄にこめられた想いや動きを「DANCE MOTOSURI」として提案することで、学びを生活に生かせるようにする。

## 本題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・「もとり唄」と「桶洗い唄」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>・旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>・酒造り唄や音楽の背景に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 3 本時の展開

### 本時の目標

<p>「もとり唄」と「桶洗い唄」を、作業の動きを疑似体験しながら歌うことで、動きと音楽の特徴との関わりについて考え、曲のよさを味わって聴く。</p>
--

### 本時の評価

評価規準	
	<p>旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>
<p>おおむね満足できる児童の状況 (記述)</p>	<p>「もとり唄」を歌うことで權の動きをぴったり合わせて作業することができるし、呼びかけとこたえになることで、チームワークが高まるように感じました。「桶洗い唄」は、音の長さを自由に歌うことで、自分のペースでいねいに作業することができたし、寒い中で大きな声を出していたら、つらさをまぎらわすことができると感じました。歌い継がれてきた民謡の旋律には意外に自由度があって、そこがおもしろいと思いました。</p>

### 学習過程

主な学習活動と予想される児童の思考	・教師の働きかけ ◎評価規準 ◇配慮を要する児童への手立て
<p>1 「桶洗い唄」と「もとり唄」を歌い、それぞれの特徴を確認する。 (5分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>桶洗い唄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の上下がはげしいです。</li> <li>・一文字を長くのばしながら歌っています。</li> <li>・音がつながっています。</li> <li>・手拍子には合いません。</li> <li>・すごくゆっくり歌っています。</li> </ul> <p><b>もとり唄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムよく歌っています。</li> <li>・音を切るように歌います。</li> <li>・手拍子に合う音楽です。</li> <li>・リズムよく歌っています。</li> </ul> <p><b>共通点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1文字を、音をのばして歌うところがあります。</li> <li>・音の高低差がはげしいです。</li> <li>・呼びかけとこたえになって歌っています。</li> </ul> </div>	<p>・普段、親しんでいる音楽との相違点や、2曲を歌ってみたときに感じた難しさから、それぞれの音楽の特徴を確認する。</p> <p>◇音の高さやのばし方を図に表わした楽譜を見ながら歌えるようにする。</p> <p>・映像に合わせて歌うことで、仕事の様子を思い浮かべて歌えるようにする。</p>

<p>2 本時の学習課題について確認する。 (3分)</p>	
<p><b>学習課題</b> なぜ、唄を歌いながら仕事をしていたのか考えよう。</p>	
<p>3 どのように考えていくか見通しをもつ。</p> <p>・実際に作業のまねをしてみたら分かると思います。          ・歌いながら作業をすれば、気持ちが分かると思います。          ・歌った時と歌っていない時を比べたら分かると思います。          ・違う曲に合わせてやってみたら、どうなるか試してみたいです。</p>	<p>・実際に歌いながら、仕事を疑似体験することで、仕事唄を歌うことのよさについて考えたことを交流し、なぜ歌いながら仕事をしていたか考えていくことを確認する。</p>
<p>4 「もとり唄」と「桶洗い唄」を歌いながら作業の疑似体験をし、感じたことや気付いたことを交流する。 (25分)</p> <p><b>「もとり唄」チーム</b></p> <p>・權が前に行くときのタイミングと、唄の手拍子のタイミングが一緒になります。          ・社役のリーダーと蔵人役で呼びかけとこたえになるようにすることで、みんなでいいお酒をつくらうという気持ちになります。  <u>歌わなかったらどのように感じるでしょうか。</u>          ・歌った時は簡単だったけど、歌わないときは、二人の動きを合わせるのが難しく感じました。          ・歌がないと四つの半切り桶の動きがばらばらになって、出来上がりに差ができて困ると思います。          ・だまって仕事をしていると、仕事がつらく感じるので、歌うことで楽しくできていいです。          ・歌がないと、いつ仕事をやめていいかわからないから、タイマーとして役に立つことが分かります。          ・みんなの作業がそろると、気持ちもそろって気持ちいいと感じました。</p> <p><b>「桶洗い唄」チーム</b></p> <p>・外にいただけでも寒かったし、さらに仕事をしていて、きっと大変な仕事だったのだと思います。          ・寒かったけど、大きな声を出していたら、まぎれました。          ・大きな声で歌ったら体があたたまる気がしました。  <u>もとり唄に合わせて作業をしたらどう感じるでしょうか。</u>          ・もとり唄に合わせてたら、唄に合わせてテンポよくやってしまっ、雑になってしまいました。          ・ゆっくり歌うから、ていねいにできるのだと思います。          ・人と合わせる必要がないから、自分のペースでゆっくり歌うのだと思います。</p>	<p><b>対話する学習場面 (グループ)</b>          ★歌いながら作業をしたときの動きと、歌わなかったときの作業の動きの違いや気持ちの違いを比較することで、「もとり唄」を歌うことのよさについて考えることができるようにする。</p> <p>・半切り桶でもとすりをする「もとり唄」チームと、外で酒樽を洗う「桶洗いチーム」に分け、実際に作業の疑似体験ができる場を設定する。          ・前半と後半でチームを交代し、どちらも体験できるようにする。          ・「もとり唄」チームでは、四つの半切り桶で同時に作業をさせることで、動きの一体感をより実感できるようにする。          ・社役と蔵人役に分かれて、呼びかけとこたえで歌うことで気持ちの違いにも気付くことができるようにする。</p> <p><b>対話する学習場面 (グループ)</b>          ★屋外に出て、冬の寒さの中の作業の疑似体験をしながら歌うことで、歌いながら作業することのよさについて考えることができるようにする。</p> <p>・桶洗いを「もとり唄」に合わせて作業をすることで、「桶洗い唄」の自由なリズムの旋律のよさを実感できるようにする。</p>
<p>5 それぞれのチームで感じたことを全体で交流する。 (7分)</p> <p>・仕事に合う唄があることが分かりました。          ・歌うことで力がもらえたり、高めたりすることが分かりました。          ・歌うと仕事が楽しくでき、寒さを感じなくなり、歌には力があることが分かりました。</p>	<p><b>対話する学習場面 (全体)</b>          ★それぞれのチームで感じたことをお互いに交流することで、歌うよさについて感じたことと気付いたことを深められるようにする。</p>
<p>6 なぜ歌いながら仕事をするのか、歌うことの「力」</p>	<p>・実際に歌いながら作業をすることで感じ取った仕</p>

について考えをまとめる。 (5分)

学びを深めた姿

もどすり唄は、みんなで權の動きをぴったり合わせて作業することができて気持ちいいと思います。呼びかけとこたえになっていて、みんなで力を合わせて作業することが実感できて仕事になりました。「桶洗い唄」は、自由なリズムなので、歌うのは難しいと思っていたけど、そのおかげで一人一人のペースに合わせていねいに力強く作業ができました。大きな声を出して歌っているので、寒さをふきとばすことができると思います。民謡の旋律はいろいろな特徴があっておもしろいし、歌うことは、つらさを忘れさせる力をもっているということが分かりました。

事唄のもつ「力」について、価値付けできるようにする。

◎旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

(観察・発言・ワークシート)

本時の板書計画

The board plan consists of three main parts:

- Main Board (Left):** Titled "酒造り唄に学ぶ 蔵人たちの心". It features a central mind map for "桶洗い唄" (Utsuribiki) and "もどすり唄" (Motosuri Uta). Key points include:
  - 音楽の特徴 (Musical Features):** 音の高さは高い (High pitch), のびのびとした複雑なリズム (Relaxed and complex rhythm).
  - 手拍子 (Hand Clap):** 手拍子に合わない (Doesn't fit hand clap), 手拍子に合う (Fits hand clap).
  - Other Notes:** 力強く洗う (Wash with strength), ていねいに洗う (Wash politely), 寒さをふきとばす (Remove cold), 呼びかけとこたえ (Call and answer).
- Utsuribiki Board (Middle-Right):** Titled "桶洗い唄". It shows rhythmic notation with lyrics: さむや (Samuya), さしか (Sashika), さ (Sa), ヨヨイ (Yo Yo I), (ヤレヨイイ) (Yare Yo I I), さい (Sai), あらし (Arashi), けのめ (Kemono), ヨヨイ (Yo Yo I), ヤレ (Yare), ま (Ma), こし (Koshi).
- Motosuri Uta Board (Far Right):** Titled "もどすり唄". It shows rhythmic notation with lyrics: アー (A), あきの (Aki no), ヨ (Yo), ホー (Ho), イ (I), あかほの (Akaho no), ヨ (Yo), ホー (Ho), イ (I), ヤ (Ya), ヨ (Yo), ヤ (Ya), まわば (Mawaba), ヤレ (Yare), し (Shi), ち (Chi), ヨ (Yo), ホー (Ho), イ (I), アー (A), うら (Ura), は (Ha), ヨ (Yo), ホー (Ho), イ (I), なな (Nana), うら (Ura) の (no) ヨ (Yo), ほ (Ho), うら (Ura) の (no) ヨ (Yo), ホー (Ho), イ (I), ヤ (Ya), し (Shi), な (Na), さ (Sa), り (ri), ず (zu), ヤ (Ya), し (Shi), ナ (Na), セ (Se), ショ (Sho), ガ (Ga), エ (E).